

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百四號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月十二日(月)

○令 達

官房第五九八一號

昭和十三年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十三年十二月一日

海軍大臣

歳出經常部 款 項 目 解 疏 (海軍本省)(俸 給) ×賞 與 會計科目 電信略號		歳出臨時部 款 項 目 解 疏 (水陸整備費)(事務費) ×賞 與 會計科目 電信略號		航空隊 設備費 航空隊 設備費 ×賞 與 ツヲ		艦船整備費 艦船特定修理費 ×賞 與 ツキ		航空高層氣象圖 航空高層氣象圖 誌其他調製費 誌其他調製費 ×賞 與 コマ	
官房機密第五〇二七號ノ二 提 表 昭和十三年官房機密第五〇二七號中左ノ通改正ス 昭和十三年十二月十二日 海軍大臣				「海軍航海學校規則第二十一條」ヲ「海軍航海學校規則第二十一條ノ二及同第二十一條ノ三」ニ改ム (昭和十三年九月十五日本棚参照)					

海軍公報(部内限)第三千八百四號

昭和十三年十二月十二日

一四五三

1266

○通牒

官房第六〇三七號ノ三

昭和十三年十二月十二日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影

ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

一、要目發表範圍

報國第二一一號(嶋谷汽船號)

同 第二二九號(日染號)

同 第二四〇號(第一野村號)

同 第二四一號(第二野村號)

同 第二五三號(塩野義號)

機種 艦上戦闘機

座席 一

全幅 一一・〇米

全長 七・五米

二、寫眞撮影 別ニ定ムルモノノ外禁止

官房第六〇〇七號ノ三

昭和十三年十二月十二日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影

ニ關スル件通牒

來十二月十七日大村海軍航空隊ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍ニ關シテハ左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

(イ) 報國第二三七號(長崎縣民號)

機種 艦上爆撃機

座席 二

全幅 一一・四米

全長 九・四米

全高 三・九米

(ロ) 報國第二五六號(第二佐廠號)

機種 艦上戦闘機

座席 一  
全幅 一・〇米  
全長 七・五米  
全高 三・〇米  
二、寫眞撮影 特ニ許可ヲ得タルモノノ外禁止

軍務二機密第二〇六七號

昭和十三年十二月十二日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

事變關係公用電話優先取扱ニ關スル件申進

今次事變以來公衆電話ニ依ル事變關係通話ノ至急申込ハ事變通話トシテ優先取扱方遞信省ニ於テ實施中ノ處事變通話箇所及其ノ通話量増加ノ爲却テ眞ニ緊急ナル通話ノ遅延ヲ來ス虞有之候條成ルベク通話量ヲ節減スル様留意セシメラレ度尙通話對手ヲ成ルベク制限スル必要有之候ニ付自今事變關係公用電話ノ優先取扱ヲ要スル場合ハ左記様式ニ依リ當局ニ協議シ當局ヨリ遞信省ヘ照會スルコトニ定メラレ候條可然處理相成様致度

記

通話應名		(電話番號)	
相手局名	相手番號	通話先	要特ニ緊急理由

經豫機密第三號ノ一九

昭和十三年十二月十二日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

支出官又ハ資金前渡官吏ガ軍用手票ノ拂出ヲ受クル日本銀行代理店並ニ日本通貨ト軍用手票ノ引換ヲ爲ス日本銀行代理店ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ十月三十一日經豫機密第三號ノ一三、十一月十二日同第三號ノ一六及十二月一日同第三號ノ一八ヲ以テ通牒候處今般更ニ日本銀行臺北代理店ニ於テモ支出官又ハ資金前渡官吏ガ軍用手票ノ拂出ヲ受ケ得ルコトトシ尙將來徐州及廣東ニ日本銀行代理店

海軍公報(部内限)第三千八十四號

昭和十三年十二月十二日

一四五五

1268

開設ノ上ハ同所ニ於テモ右ノ取扱ヲ受クル外日本通貨ト軍用手票ノ引換ヲモ受ケ得ル旨大藏省ヨリ通知有之候條了知相成度

○ 辭 令

海軍大佐 三 戸 壽

海軍中佐 矢 牧 章

同 細 谷 資 彦

海軍少佐 淺 田 昌 彦

海軍武功調査委員ヲ命ス(註明海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更  
第十戰隊司令官ハ十二月八日旗艦ヲ天龍ヨリ龍田ニ變更セリ

○ 郵便物發送先  
第二十九潜水隊宛  
十二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保  
其ノ後ハ 吳

○ 殘務整理

第十五航空隊殘務整理事務所ヲ大村海軍航空隊内ニ設置シ十二月一日事務開始、同八日事務所ヲ海仁會佐世保集會所ニ移轉セリ

○ 書類分類發送ノ件照會  
當廠工務規則施行細則一部變更試行ニ付昭和十四年一月一日以降當廠航空機部宛書類ハ(機體關係)、(發動機關係)ニ分ケ發付方取計相成度  
(廣 海 軍 工 廠)

○ 試驗問題發送  
第十四期高等科信號術練習生採用試驗問題本月十日左記ノ通發送濟

記  
一、聯合試驗參加不可能ト認メラル、向ニハ直接、其ノ他ハ各海軍人事部長又ハ要港部副官宛送付セリ  
二、行動豫定變更及在支派遣部隊ニシテ臨時必要ノ分トシテ若干部數前記各官及第三、四、五艦隊副官宛送付シアリ  
未着ニシテ所要ノ向ハ最寄人事部長又ハ要港部ヨリ受領若シクハ本校ニ通知相成度  
(海 軍 航 海 學 校)

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ヲ要セズ

○十二月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲長門▲、□陸奥、▽那珂、□鳥海▲、摩耶、

▽蒼龍▲、木曾、赤城、利根▲、神威

▽曉、漣、狹霧、□天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

□秋風、羽風、太刀風、夕風、沖風▲

□伊二▲、伊一▲、伊四▲、伊五▲、伊七▲

富士▲、洲崎、鳴戶、襟裳

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】▽夏雲、朝雲、峯雲、神風、□響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、□伊六、□伊一二三、伊一二四

【石川島】

(掃一○)▲

北上▲

【浦賀】

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風▲

【函館】

吳竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▽大鯨、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、龍驤▲

夕顔、□菊、葵、萩、□漣、藤、葛、若竹、

早苗、□初雪、白雪、吹雪、□浦波、綾波、

▽矢風、□東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、□伊五三▲、伊五五、

伊五七、伊五六、伊五八、□伊七二、

伊七三、伊七二、□伊六六▲、伊六五、

伊六七、伊七四、□伊一二二、伊一二三、

伊七〇、伊六八、伊八

雁 攝津、間宮、石廊

(千代田)▲(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊七五)▲

【相生】

早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】□旗風、春風▲、□松風▲

【江田内】

平戸▲ 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【舞鶴】 敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲

(掖)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

【佐世保】 榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、▽霧島、

海軍公報(部内限) 第三千八十四號

昭和十三年十二月十二日

一四五七

1270

1271

駒橋

栗、梅、蓮、  
 日夕立、村雨、春雨、五月雨、  
 芙蓉、朝顔、刈萱、  
 日菊月、睦月、望月、  
 三日月、  
 日蓬、蓼、菱、  
 日島風、沙風、  
 灘風、  
 日臈、曙、潮、  
 日夕風、朝風、  
 日隼、  
 日鷓、  
 日鴻、  
 日千鳥、  
 初雁、  
 友鶴、  
 真鶴、  
 日鳩、  
 鷺、  
 雉、  
 掃一、  
 掃二、  
 掃三、  
 掃四、  
 掃五、  
 掃六、  
 掃一六、  
 掃一三、  
 掃一四、  
 掃一五、  
 掃一七、  
 掃一八、  
 朝日、  
 膠州、  
 知床、  
 野島

【航海中】

室戸 (十日舞鶴發一吳へ)

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】

葦、柿、楡

【ホノルル】

尻矢

【マニラ】

磐手、八雲

【作業地】

出雲、安宅、島羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、龍田、天龍、長良、勝力、迅鯨、嵯峨、名取、

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十三年十二月十二日(月)

○ 令 達

官房第六一四號

概 要

株式會社西村福治商店ヨリ 献納ノ 快速義勇艇十八隻ヲ 雜役船ニ 編入シ 其ノ 船種、船名、所屬等ヲ 左ノ 通定ム

昭和十三年十一月八日

海 軍 大 臣

船 種	船 名	所 屬	定 數 別	献 納 者
内 火 艇 (八米五三)	報國第一八號 (第一西村號)			大阪市西區新町南通五ノ一六 株式會社 西村福治商店 献納者 西村福治
同	報國第十九號 (第二西村號)			同 献納者 大西正史
同	報國第二〇號 (第三西村號)			
同	報國第二二號 (第五西村號)			同 献納者 西村福治
同	報國第二三號 (第六西村號)			
同	報國第二四號 (第七西村號)			同 献納者 西村福治
同	報國第二五號 (第八西村號)			

海軍公報 (部内限) 號外

1272

海軍公報 (部内限) 號外

官房第六一四號ノ二 兵庫縣近久順彦氏ヨリ寄贈ノ高速艇一隻ヲ雜役船ニ編 入シ其ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム 昭和十三年十二月八日 海軍大臣	同	内 火艇 (十米九七)	報國第二五號 (第九西村號)	佐世保海軍港務部 (第三艦隊司令部供用)	臨時附屬	同 獻納者 大西正史	
	同	同 (十米三六)	報國第二六號 (第一〇西村號)				同 獻納者 西村安一郎
	同	同 (十米九七)	報國第二七號 (第一一西村號)				
	同	同 (十米六六)	報國第二八號 (第一二西村號)				
	同	同 (同)	報國第二九號 (第一三西村號)				
	同	同 (同)	報國第三〇號 (第一四西村號)				
	同	同 (十米六七)	報國第三一號 (第一五西村號)				
	同	同 (八米八三)	報國第三二號 (第一六西村號)				
	同	同 (八米七一)	報國第三三號 (第一七西村號)				
	同	同 (十米九七)	報國第三四號 (第一八西村號)				
	同	同 (十米五三)	報國第三五號 (第二〇西村號)				

1273



官房第一五一八號ノ八  
 雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス  
 昭和十三年十二月八日

海軍大臣

	交通船 (十米)	野菊	吳海軍港務部 (臨時海軍防備隊供用)	旅順要港部 (旅順防備隊供用)	臨時所屬	別定數	記事
	船種	船名	舊所屬	新所屬	別定數	記事	

海軍公報 (部内限) 號外

三

1274

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千八十五號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月十三日(火)



令 達

官房機密第六六二七號

左記ニ依リ横須賀海軍航空隊ニ於テ九八式水上偵察機ノ飛行並ニ整備講習ヲ施行ス

昭和十三年十二月三日

海 軍 大 臣

記

一、期 間

昭和十四年一月六日ヨリ七日間

二、講習項目

九八式水上偵察機ノ飛行並ニ整備

三、參加員

(一) 指導官及同補佐

指導官 横須賀海軍航空隊司令  
指導官補佐 横須賀海軍航空隊教官及海軍航空  
廠職員 員數適宜

(二) 講習員

四、所要兵器

(一) 軍艦那珂及川内ニ供給豫定ノ九八式水上偵察機  
二機ヲ横須賀海軍軍需部ヨリ受領ノ上使用ス

(二) 講習終了後一機ハ軍艦川内講習員ノ一部ヲシテ  
之ヲ横須賀ヨリ佐世保ニ空中輸送セシメ佐世保海  
軍軍需部ニ引渡スモノトス

五、所要經費

旅費ハ軍事費、雜給及雜費、内國旅費、出張旅費支  
辨トシ請求ヲ俟テ別途配付ス但シ講習員ハ講習開始  
ノ前日横須賀着終了當日同地發トシ講習中下士官兵  
ハ横須賀海軍航空隊ニ起臥セシメ糧食ヲ給シ日當一  
日ニ付下士官金二十錢、兵金十五錢ヲ支給ス、所要  
燃料及行動用消耗品ハ昭和十三年官房第一四七九號  
ニ依リ處理スベシ

軍艦那珂及川内航空關係員

准士官以上

各二名以内

下士官、兵

各七名以内適宜

海軍公報(部内限) 第三千八十五號

昭和十三年十二月十三日

一四五九

1275

○ 辭 令

海軍少將 浮田 秀彦(艦本)

海軍中佐 竹崎 馨(同)

同 加藤 行雄(吳廠)

同 後藤 汎(伊八潛)

(各通) 海軍少佐 館 久次(廣廠)

同 浦田 輝次郎(航本)

海軍機關少佐 三戸 文章(伊八潛)

海軍造船中佐 加藤 恭亮(艦本)

伊號第八潜水艦第二次審議(航空兵裝公試、魚雷兵裝公試)委員ヲ命ス

海軍機關中佐 越澤 傳治(艦本)

敷設艇測天審議委員ヲ命ス

海軍技師 濱田 善治(艦本監)

敷設艇測天審議委員ヲ免ス(以上其請海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚  
第二根據地隊司令官ハ將旗ヲ一時横須賀鎮守府第三特別陸戰隊ニ移揚セリ

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部及第一艦隊司令部宛  
十二月十五日以後到達見込ノモノハ

横須賀 軍艦長門

第一砲艇隊宛

佐世保郵便局氣付

第一驅逐隊宛

横須賀

第七驅逐隊宛

横須賀

第二十二驅逐隊宛

佐世保

第二十六驅逐隊宛

佐世保

十二月十五日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ

驅逐艦檢査宛

鎮海

第二號、第五號、第六號掃海艇宛

佐世保郵便局氣付

○艦裝具事務所設置

第九號掃海艇艦裝具事務所ヲ舞鶴海軍工廠内ニ設置シ  
十二月九日ヨリ事務ヲ開始セリ

○試験問題發送  
第六十三期高等科電信術練習生採用試験問題十二月九  
日左ノ通發送濟ニ付未着ニシテ必要ノ向ハ至急御通知  
相成度

記

- 一、聯合試験施行用ノモノハ各人事部長及各要港部參  
謀長(舞鶴ハ防備隊司令)宛送付
- 二、試験當日出動艦船用トシテ各人事部長宛若干部數  
送付
- 三、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直接送付

(海軍通信學校)

第六十四期普通科經理術練習生及第三十六期普通科衣  
糧術練習生採用試験問題十二月八日發送濟  
未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

一、試験問題發送先

聯合試験參加各部ノ分ハ各海軍人事部長、各要港  
部參謀長及上海海軍特別陸戰隊副官宛、單獨試験  
ノ分ハ直接各部ノ長宛送付ス

二、聯合試験參加豫定ノ艦船等ニシテ行動豫定變更其  
ノ他ノ爲單獨試験ヲ施行スル場合ハ最寄海軍人事  
部、要港部若ハ上海海軍特別陸戰隊ニ請求相成度

(海軍經理學校)

○學生入隊  
十二月十五日任命ノ海軍練習航空隊特修科學生(機關  
科及整備科)ハ十二月二十四日始業式ニ付前日迄ニ入  
隊セシメラレ度

(横須賀海軍航空隊)

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」  
指定ヲ要セズ

○十二月十三日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲  
長門▲、口陸奥、那珂、口鳥海、摩耶、

▷蒼龍▲、木曾、赤城、利根▲、▷神威

▷曉、漣、狹霧、▷天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

▷秋風、羽風、太刀風、沖風▲

▷伊二▲、伊一▲、伊四▲、伊五▲、伊七▲

富士▲、洲崎、鳴戸、襟裳

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】▷夏雲、朝雲、峯雲、神風、▷響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、▷伊六、▷伊一二三、伊一二四

【石川島】

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驥▲

夕顔、▷菊、葵、萩、▷薄、藤、葛、若竹、  
早苗、▷初雪、白雪、吹雪、▷浦波、綾波、  
呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一▲、▷伊五三▲、伊五五、  
▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊七二、  
伊七三、伊七一、▷伊六六▲、伊六五▲、  
伊六七、伊七四、▷伊一二二、伊一二三、  
▷伊七〇、伊六八、伊八

雁 攝津、間宮、石廊、室戸

(千代田)▲(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊七五)▲

【相生】

早鞆▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】▷旗風、春風▲、▷松風▲

【江田内】

平戸▲

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲

(掖)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、▷霧島、

【佐世保】

夕顔、▷菊、葵、萩、▷薄、藤、葛、若竹、  
早苗、▷初雪、白雪、吹雪、▷浦波、綾波、  
呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一▲、▷伊五三▲、伊五五、  
▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊七二、  
伊七三、伊七一、▷伊六六▲、伊六五▲、  
伊六七、伊七四、▷伊一二二、伊一二三、  
▷伊七〇、伊六八、伊八

金剛▲、▽由良、▽川内、▽阿武隈、▽加賀、千歳▲、能登呂

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽水無月、長月、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、▽如月、卯月、彌生、夕月▲、文月、▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、涼風、山風、

▽追風、疾風 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六六、

呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、▽呂三四、呂三三、▽伊六三、伊五九、

伊六〇、▽伊六四、伊六一、伊六二、伊六九 敷島▲、鶴見、隠戸

(明石)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲ 佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】▽葦、柿、楡

【ホノルル】尻矢

【マニラ】▽磐手、八雲

【作業地】▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、墜田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷺、

▽足柄、沖島、▽球磨、▽妙高、多摩、▽龍田、

天龍、▽長良、勝力、迅鯨、▽嵯峨、名取、

駒橋

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、

▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、睦月、望月、

三日月、▽蓬、蓼、菱、▽島風、汐風、

灘風、草月、▽臘、曙、潮、▽夕風、朝風、

▽隼、鶴、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▽鷺、鳩、雉 掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八 朝日、膠州、知床、野島

【航海中】

▽野風、沼風 (十二日佐世保發—横須賀—)

夕風 (十三日横須賀發—大湊—)

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

○通 牒

昭和十三年十二月十三日(火)

海軍大臣官房

經國第二〇號

昭和十三年十二月九日

關係各廳御中

海軍省經理局

國有財産増減事由用語ニ關スル件通知  
曩ニ配布致候國有財産増減事由用語記載例ニ左記ノ通追加相成候

國有財産増減事由用語記載例

甲 公用財産

追 加 箇 所	區 分	増	減	摘 要
「一〇頁一二行目」 「建物へ整理替」ノ次ニ 「二頁八行目」 「整理替」ノ次ニ 「四頁一行目」 「用途廢止」ノ前ニ	工作物 器具機械 船 舶	器具機械ヨリ整理替 工作物ヨリ整理替 種 目 變 更 營林財産ヨリ種別替	器具機械へ整理替 工作物へ整理替 種 目 變 更 營林財産へ種別替	

海軍公報(部内限)號外

乙 營林財産		追 加 箇 所	區 分	増	減	摘 要
「一五頁二行目」 「寄附」ノ次ニ	「一五頁八行目」 「官行造林焼失」 ……歩」ノ次ニ	土地埋立	官行造林實測 ……歩	官行造林實測 ……歩	保安林、部分林、委託林、保管林、官地民木林等總テ此ノ例ニ依ル	
「二〇頁六行目」 「新設」ノ前ニ	「二〇頁八行目」 「新規登載」ノ次ニ	官行造林改植	官行造林改植 ……歩	官行造林改植 ……歩	右ノ例ニ依ル	
「二〇頁一〇行目」 「取毀」ノ次ニ	「二二頁二行目」 「移設」ノ次ニ	購入 報告 洩	官行造林改植 ……歩	官行造林改植 ……歩	天災其ノ他ニ依リ立木ヲ著シク損傷シタル爲ニ官行造林ノ改植ヲ爲シタル場合	
		模様替換	模流 模替	模失		



丙 雜種財産 追 加 箇 所 區 分 増 減 摘 要	「二頁六行目 「公用財産ヨリ種別替」ノ次ニ 「二頁四行目 「改 造」ノ 次ニ	船 舶	雜種財産ヨリ種別替 公用財産ヨリ種別替	公用財産へ種別替
	「二頁一四行目 「伐 採」ノ 次ニ	土 地		盜 樹木……本價格……伐

(參照昭和八年五月經物第五四一號昭和九年七月經物第一一號昭和十年五月經物第三四八號及昭和十二年九月經物第一〇號)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八十六號

昭和十三年十二月十四日(水)  
海軍大臣官房

○令 達

官房第六二四八號

提 要

海軍軍人軍屬大日本航空株式會社經營定期航空便減價  
搭乘ニ關シ今般經理局長ヲシテ別紙ノ通契約締結セシ  
ム

追テ減價搭乘ノ手續ハ大正七年海軍省告示第三號海  
軍軍人軍屬減價乘船手續ニ準シ搭乘證券ハ別紙書式  
ニ依ル

昭和十三年十二月十四日

海 軍 大 臣

(別紙)

海軍軍人軍屬減價搭乘契約書

第一條 海軍軍人軍屬ニシテ規定ノ搭乘證券ヲ携帶ス  
ルモノハ旅客運賃定價ノ參割ヲ減シテ定期航空便ニ  
搭乘スルコトヲ得ヘシ  
第二條 減價搭乘ハ旅客運賃ニ限ル無賃携帶シ得ベキ

手荷物ノ制限及無賃制限外手荷物ノ運賃等ハ普通ノ  
乗客ニ同シ

第三條 本契約ハ昭和十三年十二月一日ヨリ效力ヲ有  
スルモノトシ當分ノ間繼續スルモノトス  
右契約ヲ證スル爲本書式通ヲ作り各自署名捺印シテ各  
共ノ壹通ヲ保有ス

昭和十三年十二月一日

海軍省經理局長 武 井 大 助  
大日本航空株式會社  
取締役社長 齋 藤 武 夫

(別紙一葉添)

官房第六二四九號

提 要

昭和十三年官房第四三〇二號ニ依リ採用スベキ海軍練  
習航空隊特修科學生ノ採用時期ヲ左ノ通改正ス  
昭和十三年十二月十四日

海 軍 大 臣

「昭和十三年十二月二十日」ヲ「昭和十三年十二月十

海軍公報(部内限) 第三千八十六號

昭和十三年十二月十四日

一四六五

1283

五日」ニ改ム

（昭和十三年八月二十三日本欄参照）

官房機密第五〇二六號ノ二

援 要

昭和十三年官房機密第五〇二六號ニ依リ昭和十四年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十三年十二月十四日

海 軍 大 臣

表中高等科水雷術及普通科水雷術ノ部中航空魚雷ノ項ヲ削ル

表中普通科運用術ノ部ヲ左ノ如ク改ム

普通科	操 舵	九〇	七〇	六〇	二二〇
運用術	應 急	七〇	六〇	五〇	一八〇

表中普通科電信術ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

特修科	爆 擊	六	三	五	一四
航空術	通 信	四	二	三	九
	観 測	二	一	二	五

表中航空術ノ部偵察ノ項中「九〇」ヲ「一二〇」ニ、  
（探用者）  
（豫定者）

「三六」ヲ「八〇」ニ、「七四」ヲ「一〇〇」ニ、「三〇〇」ヲ「三〇〇」ニ改ム  
表中高等科航空兵器術及普通科航空兵器術ノ部ヲ左ノ如ク改ム

高等科	雷爆兵器	二四	一〇	一六	五〇
航空兵器	射爆兵器	三三	一七	二二	七〇
器 術	光學兵器	七	三	五	一五
	寫眞兵器	四	三	三	一〇
普通科	雷爆兵器	五〇	二〇	四〇	一一〇
航空兵器	射爆兵器	八〇	四五	六五	一九〇
器 術	寫眞兵器	八	六	六	二〇

表中「特修科工術」ヲ「特修科工術」ニ、「工術」ヲ「普通科工術」ニ改ム

（昭和十三年九月十五日本欄参照）

官房機密第六六七一號 援 要  
商工省令第九十二號米松販賣取締規則第一條但書ニ依ル認定工場ヲ左ノ通定ム

昭和十三年十二月十四日

海軍大臣

會社名工場名

東京府

日本耐火防腐株式會社

深川工場

株式會社東京石川島造船所

深川工場、佃島工場

啓正式特許品製作所

本社工場

東京瓦斯電氣工業株式會社

大森工場

昭和飛行機工業株式會社

東京製作所

神奈川縣

三菱重工業株式會社

横濱船渠

浦賀船渠株式會社

浦賀工場

鶴見製鐵造船株式會社

淺野船渠

日本飛行機株式會社

本社工場

群馬縣

中島飛行機株式會社

太田製作所

愛知縣

三菱重工業株式會社

名古屋航空機製作所

愛知時計電機株式會社

兵庫縣

株式會社川崎造船所

三菱重工業株式會社

神戸造船所

株式會社播磨造船所

本社工場

川西航空機株式會社

岡山縣

株式會社玉造船所

廣島縣

株式會社大阪鐵工所

因島工場

株式會社宇品造船所

山口縣

三菱重工業株式會社

彦島造船所

福岡縣

株式會社渡邊鐵工所

雜餉隈工場

長崎縣

三菱重工業株式會社

長崎造船所

○辭令

海軍造船少佐 大藪 大輔

伊號第七十五潜水艦審議委員ヲ免ス(正副海軍艦政本部)

囑 託 横井 英信

技術部第三課勤務ヲ命ス(正副海軍航空本部)

海軍公報(部内限)第三千八十六號

昭和十三年十二月十四日

一四六七

○ 雜 款

○ 旗艦變更  
第八戰隊司令官ハ十二月十二日旗艦ヲ那珂ヨリ由良ニ變更セリ

第三航空戰隊司令官ハ十二月十日旗艦ヲ香久丸ヨリ神威ニ變更セリ

○ 將旗復歸  
第二根據地隊司令官ハ十二月十二日將旗ヲ横須賀鎮守府第三特別陸戰隊ヨリ嵯峨ニ復歸セリ

○ 司令艇變更  
第十一水雷隊司令ハ十二月十二日司令艇ヲ鳩ヨリ鷲ニ變更セリ

○ 特務艦石廊行動豫定變更(十一月三十日)

地 名	着	發
吳 山	十二月十六日	十二月十六日
德 山	十二月十九日	十二月十八日
佐 保	十二月十九日	十二月二十一日
德 山	十二月二十二日	十二月二十四日
吳 山	十二月二十四日	十二月二十四日

○ 郵便物發送先

第十一水雷隊

陸 艦 宛

自 今  
鳩、雄宛  
自 今

門司郵便局氣付

吳

○ 郵便物發送先變更

特務艦石廊宛

十二月十五日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
同 十七日迄ニ	德 山
同 二十日迄ニ	佐 保
同 二十三日迄ニ	德 山
其ノ後ハ	吳

○ 正誤

昨十三日令達欄官房機密第六六二七號月日「十二月二十日」ハ「十二月十三日」ノ誤

(別紙様式)

第 號

# 搭乘證券

至 自

昭和 年 月 日

## 注意

- 一、本券ヲ以テ大日本航空株式會社經營定期航空便ニ搭乘スル者ハ運賃定價ノ三割ヲ減セラルモノトス
- 一、本券ハ搭乘切符購入ノトキ賃金ト共ニ其ノ社店ニ渡スヘシ
- 一、本券ハ發行廳ニ於テ番號其ノ他必要ノ記入ヲ爲シ使用者ニ交付スヘシ
- 一、本券ニ記入ノ文字ハ鉛筆ヲ用フヘカジス
- 一、本券ニ記入ノ文字ヲ抹殺改書シタルトキハ發行者ノ消印アルニ非サレハ無効トス
- 一、本券ハ一人一枚ヲ使用スヘシ
- 一、本券ハ記名人ノ外効力ナキモノトス
- 一、本券ハ他人ニ譲リ渡スコトヲ得ス
- 一、本券ヲ紛失シタルトキハ其ノ券面番號其ノ他必要ノ事項ヲ速ニ發行廳ニ届出ツヘシ
- 一、本券不用トナリタルトキハ發行廳ニ返納スヘシ
- 一、本券ノ使用期限ハ發行ノ日ヨリ三十日以内トス

(昭和十三年十二月十四日公報(部内限))

1287

○艦船所在

▲印(ハコ)ホ(ホ)  
指定ヲ要セズ

○十二月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲  
長門▲、口陸奥、那珂、口鳥海、摩耶、

▷蒼龍▲、木曾、赤城、利根▲、▷神威

▷曉、漣、狹霧、▷天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

▷秋風、羽風、太刀風、沖風▲

▷伊二▲、伊四▲、伊五▲、伊七▲

富士▲、洲崎▲、鳴戸、襟裳▲

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】▷夏雲、朝雲、峯雲、神風、▷響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、▷伊六、▷伊一二三、伊一二四

【石川島】(掃一○)▲

【浦賀】北上▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【鳥羽】▷野風、沼風

【大湊】波風

大泊

【函館】吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑、古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤▲

夕顔、▷菊、葵、萩、▷薄、藤、葛、若竹、

早苗、▷初雪、白雪、吹雪、▷浦波、綾波、

▷矢風、▷東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、▷伊五三▲、伊五五、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊七二、

▷伊七三、伊七一、▷伊六六▲、伊六五▲、

▷伊六七、伊七四、▷伊一二一、伊一二二、

▷伊七〇、伊六八、伊八

雁

攝津、間宮、石廊、室戸

(千代田)▲(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】▷旗風、春風▲、▷松風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲

(叢)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、▷霧島、

海軍公報(部内限)第三千八百六號

昭和十三年十二月十四日

一四六九

金剛▲▽由良、▽川内、▽阿武隈、▽加賀、千歳▲、能登呂、▽龍田

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲檜▲董▲▽水無月、長月、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、▽如月、卯月、彌生、夕月▲、文月、▽白露、有明、

夕暮、時雨、▽江風、海風、涼風、山風、▽追風、疾風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六六、

呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、▽呂三四、呂三三、▽伊六三、伊五九、

伊六〇、▽伊六四、伊六一、伊六二、伊六九、敷島▲、鶴見

【長崎】羽黒▲(明石)▲(伊一八)▲

佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】葦、柿、楡

【ホノルル】尻矢

【マニラ】磐手、八雲

【作業地】▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、

▽足柄、沖島、▽球磨、▽妙高、多摩、天龍、

▽長良、勝力、迅鯨、▽嵯峨、名取、駒橋

【航海中】

夕風 (十三日横須賀發—大湊へ)

澤風 (十三日館山發—大島方面へ)

隠戸 (十三日佐世保發—吳へ)

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、睦月、望月、三日月、▽蓬、蓼、菱、▽島風、汐風、灘風、阜月、▽朧、曙、潮、▽夕風、朝風、▽隼、鶴、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鷺、鳩、雉

▽掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▽朝日、膠州、知床、野島



# 海軍公報

(部内限) 第三千八十七號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月十五日(木)

1290

## ○令 達

官房機密第六七〇〇號

左記ニ依リ横須賀海軍航空隊ニ於テ瑞星發動機ノ整備取扱講習ヲ施行ス左記第四號ノ講習員ヲ派遣スルト共ニ其ノ官職階氏名ヲ横須賀海軍航空隊司令ニ通報スベシ

昭和十三年十二月十五日

海軍大臣

### 記

#### 一、期 間

昭和十四年一月九日ヨリ六日間

#### 二、講習項目

(一) 瑞星發動機ノ整備取扱法

(二) 發動機關聯諸装置ノ取扱法

#### 三、指導官及同補佐

指導官 横須賀海軍航空隊司令

指導官補佐 横須賀海軍航空隊教官及海軍航空廠

#### 四、講習員

職員 員數適宜

長門、金剛、霧島、鳥海、摩耶、三隈(關係下士官、兵 各二名)

熊野、鬼怒、山良、阿武隈、劍埼(關係下士官、兵 各四名)

大 鯨(關係下士官、兵 六名)

千代田(關係下士官、兵 六名)

五、使用兵器

横須賀海軍軍需部在庫ノ九四式二號水上偵察機機體

四基及瑞星發動機四基ヲ使用ス

六、所要經費

軍事費、雜給及雜費支辨トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

但シ講習員ハ講習開始ノ前日横須賀着終了當日同地

發トシ講習中横須賀海軍航空隊ニ起臥セシメ糧食ヲ

給シ日當一日ニ付下士官金二十錢、兵金十五錢ヲ支

給ス

官房機密第六七〇一號

昭和十四年度ニ於テ左記艦隊又ハ戰隊司令部附タル特

提 要

海軍公報(部内限) 第三千八十七號

昭和十三年十二月十五日

一四七一



(別表)

昭和十四(教育)年度練習艦艇配當表

(昭和十三年十二月十五日公報(部内限))

海軍砲術學校	海軍水雷學校	海軍通信學校	海軍工機學校	横須賀海軍航空隊	海軍航海學校	海軍潜水學校
		木曾		白鷹		
		山城		大井		
		沖島				
第六驅逐隊		帆風				
第九潜水隊		呂號第五十八潜水艦				

官房第六二七七號

昭和十一年官房第五三二四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十二月十五日

海軍大臣

(参照) 昭和十一年官房第五三一四號ハ第二艦隊司令部附タル  
特中少尉兵曹長ヲ吳鎮守府ヨリ補充セシムルノ件ナリ

官房第六二七八號

大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス

昭和十三年十二月十五日

海軍大臣

鈴鹿航空隊司令ノ次ニ左ノ各項ヲ追加ス

筑波航空隊司令

六〇〇〇〇

鹿島航空隊司令

六〇〇〇〇

大分航空隊司令

六〇〇〇〇

(参照) 大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル  
接待費定額ナリ(會計法規類集上卷一一四ノ五頁)

官房第六二七九號

霞ヶ浦海軍航空隊ハ普通科整備術練習生、横須賀海軍

航空隊ハ偵察練習生及飛行豫科練習生ニ付夫々移轉完了ノ時期迄之ヲ教育並ニ其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究及調査ヲ行フコトヲ得

昭和十三年十二月十五日

海軍大臣

○通牒

航本機密第九六九四號

昭和十三年十二月十五日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長  
海軍航空廠長

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

四月一日航本機密第二〇〇〇號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

供給先 年 額

○大分海軍航空隊 八、〇〇〇圓

○鹿島海軍航空隊 八、〇〇〇圓

○筑波海軍航空隊 八、〇〇〇圓

○第十六航空隊 五、〇〇〇圓

海軍公報(部内限)第三千八十七號

昭和十三年十二月十五日

一四七三

軍艦	赤城	一、〇〇〇圓
同	長門	二〇〇圓
同	扶桑	二〇〇圓
同	大鯨	一〇〇圓
同	劍埼	二〇〇圓
同	名取	二五〇圓
○同	伊號第八潜水艦	五〇圓

(昭和十三年四月八日海軍公報(部内限)参照)

○ 辭令

臺灣總督府事務官 山岸 金三郎  
 第五艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以前海軍省)

臺灣總督府交通局副參事 青木 茂  
 第五艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以同)

臺灣總督府事務官 細井 英夫  
 第五艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以同)

同 西村 高兄  
 第五艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以同)

同 木原 圓次  
 第五艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以同)

漢口特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以同) 高島 好太郎

(各通)

南支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官  
 待遇トス(以同) 勝沼 敏行  
 松下 二郎  
 木村 信三郎  
 室田 早苗

南洋廳通信技師 藤井 清輔

海軍省事務囑託ヲ解ク(以同)

軍令部出仕海軍少將 樋口 修一郎  
 主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(以同軍令部)

(各通)

海軍少佐 今里 義光(軍令)  
 海軍機關中佐 奥田 増藏(軍務)  
 敷設艇測天審議委員ヲ命ス

(各通)

海軍少佐 井上 憲一  
 同 山田 盛重  
 敷設艇測天審議委員ヲ免ス(以上以同海軍艦政本部)

○ 雜款

○郵便物發送先  
驅逐艦帆風宛

自今

横須賀

第七潜水隊、伊號第一、伊號第三潜水艦宛

自今

吳

伊號第二潜水艦宛

十二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀

其ノ後ハ

吳

○軍事教育圖書

去ル十一月申納庫セル軍事教育(普通)圖書左ノ如シ

(海軍文庫)

圖書名	標記番號	類別番號
氣象學 上卷	海軍省教普 第一一四六號普 備品	九箱 三四〇號
軍 刀	海軍省教普 第一一五八號普 備品	一三 一〇四
海軍喇叭譜 (レコード)	海軍省教普 第一一四八號普 品消耗	二 一二六
操艦號令及報告發唱法 (レコード)	海軍省教普 第一一四九號普 品消耗	二 一二七
大日本戰史 第五卷	海軍省教普 第一〇七八號普 品貸與	九 一〇四B

海軍公報(部内限) 第三千八十七號 昭和十三年十二月十五日

一四七五

1295

○艦船所在 ▲印ハハホシノ  
指定ヲ要セズ

○十二月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、  
長門▲、陸奥、那珂、赤城、鳥海、  
摩耶、蒼龍▲、木曾、利根▲、神威

▽曉、漣、狹霧、天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、  
秋風、羽風、太刀風、沖風▲

伊二▲、伊五▲、伊七▲  
富士▲、洲崎▲、鳴戸、襟裳▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、神風、櫻、雷、電、  
山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、  
伊三、伊四、伊六、伊一二三、伊一二四

【石川島】(掃一○)▲  
北上▲

【浦賀】(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】澤風▲

【鳥羽】野風、沼風

【大湊】大泊  
【函館】吳竹▲  
矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹▲、  
加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、  
▽大鯨、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、龍驤▲

天龍  
夕顔、白菊、葵、萩、薄、藤、葛、若竹、  
早苗、初雪、白雪、吹雪、浦波、綾波、  
▽矢風、東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一▲、伊五三▲、伊五五、  
伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、  
伊七三、伊七一、伊六六▲、伊六五▲、  
伊六七、伊七四、伊一二一、伊一二二、  
伊七〇、伊六八、伊八

雁  
攝津、間宮、石廊、室戸  
(千代田)▲(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲  
【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲  
(瑞穂)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲  
【玉】(掃七)▲

【因ノ島】旗風、春風▲、松風▲  
【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲  
敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲  
(掖)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、▽霧島、

海軍公報(部内限)第三千八十七號 昭和十三年十二月十五日 一四七七

金剛▲▷山良、▷川内、▷阿武隈、加賀、千歲▲、能登呂、▷龍田

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲▷水無月、長月、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▷大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、▷如月、卯月、彌生、夕月▲、文月、▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、涼風、山風、

▷追風、疾風 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、

呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、▷呂三四、呂三三、▷伊六三、伊五九、

伊六〇、▷伊六四、伊六一、伊六二、伊六九 敷島▲、鶴見

(明石)▲、(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲ 佐多▲

(筑摩)▲ 〔鎮海〕▷葦、柿、楡

〔ホノルル〕 尻矢

〔マニラ〕▷磐手、八雲

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、壘田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷足柄、沖島、球磨、▷妙高、多摩、▷長良、勝力、迅鯨、▷嵯峨、名取、駒橋

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、睦月、望月、三月月、▷蓬、蓼、菱、▷島風、汐風、

灘風、皐月、▷朧、曙、潮、▷夕風、朝風、▷雫、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鷺、鳩、雉 掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、知床、野島

【航海中】 夕風 (十三日横須賀發—大湊へ)

隠戸 (十三日佐世保發—吳へ)

波風 (十四日大湊發—横須賀へ)



# 海軍公報 (部内限) 第三千八十八號

昭和十三年十二月十六日(金)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房第六二七五號

昭和十三年度北海方面其他艦艇派遣諸費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十三年十二月十五日

海軍大臣

第一條第一號「第一驅逐隊(野風、沼風、波風、神風)」ヲ「夕風」ニ改ム

官房機密第六七五二號

左記ニ依リ海軍潜水學校特修科學生ヲ採用ス  
昭和十三年十二月十六日

海軍大臣

記

特修科目 潜水艦水中測的

採用員數 横須賀鎮守府 一名

採用資格

兵曹長ニシテ高等科電音術練習生教程ヲ修業シ現ニ潜水艦職員トシテ水中測的ニ經驗ヲ有スル者

採用時期

昭和十四年二月上旬

## ○通 牒

官房機密第六七五三號

昭和十三年十二月十六日

海軍省 副官

關係各廳長殿

函獲品ノ取扱ニ關スル件通牒

本年官房機密第四四三六號ニ依リ横須賀海軍軍需部ニ送付スベキ函獲品ノ内各種機銃、小銃、拳銃彈藥包ノ取扱ヲ左記ノ通一定セラレ候

記

一、機銃彈藥包十三耗以下竝ニ小銃彈藥包及拳銃彈藥包ハ口徑ニ依リ區分スルコトナク單ニ「機銃彈藥包

海軍公報 (部内限) 第三千八十八號

昭和十三年十二月十六日

一四七九

何疋」「小銃彈藥包何疋」「拳銃彈藥包何疋」トス  
 但シ右以外ノ機銃彈藥包ハ其ノ口徑ニ應ジ「何耗機  
 銃彈藥包何個」トモ機銃彈藥包何疋トス  
 二、送付元ニ於テハ發送ト同時ニ送品目録(品名、數  
 量、輸送方法、其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載ス)  
 二通ヲ横須賀海軍軍需部ニ送付ス  
 三、横須賀海軍軍需部ニ於テハ調査完了次第送品目録  
 一通ニ受領ノ旨記載シ送付元ニ返送ス此ノ場合輸送  
 應ヲ經由スルヲ要ス

醫第五四三號

昭和十三年十二月十四日

海軍省軍務局長  
 海軍省醫務局長

各鎮守府、艦隊、要港部參謀長、軍醫長殿  
 赤痢豫防銃使用ノ件申進

赤痢豫防對策トシテ昭和十四年度限リ首題ノ件左記ニ依  
 リ實施ノコトニ定メラレ候條可然取計相成度

記

一、赤痢豫防銃ハ昭和十四年中ニ四回(一月、三月、  
 六月、九月)下士官、兵總員ニ對シ早朝空腹時ニ一  
 日一錠五日間之ヲ連用セシム

二、赤痢豫防銃服用ハ各回共各月十日頃迄ニ終了スル  
 モノトス  
 但シ已ムヲ得ザル事情ニ依リ右期間内ニ實施シ得ザ  
 ルモノハ適宜其ノ期間ヲ變更スルコトヲ得  
 三、戰地又ハ艦船部隊ニ勤務スル准士官以上及軍屬ニ  
 對シテモ成ルベク之ヲ實施スルモノトス  
 四、赤痢豫防液ハ昭和十四年度ハ之ヲ使用セザルモノ  
 トス

○雜款

○將旗掲揚  
 第十一聯合航空隊司令官ハ本日將旗ヲ霞ヶ浦海軍航空  
 隊ニ掲揚ス

○郵便物發送先  
 軍艦沖島宛  
 自今 横須賀

○艦船所在

▲印ハ「ハ」中「フ」指定ヲ要セズ

○十二月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、長門▲、陸奥、那珂、▷赤城、□鳥海、摩耶、▷蒼龍▲、木曾、利根▲、▷神威、曉、漣、狹霧、□天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、沖風▲

□伊二▲、伊七▲

富士▲、洲崎▲、鳴戸、襟裳▲

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、神風、波風、□雷、響、電、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊四、伊五、□伊六、□伊一二三、伊一二四

【石川島】

(掃一○)▲

【浦賀】

北上▲ (霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

夕風

【函館】

大泊

【吳】

吳竹▲ 矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑、古鷹▲、加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤▲

天龍、千代田

夕顔、□菊、葵、萩、□薄、藤、葛、若竹、早苗、□初雪、白雪、吹雪、▷矢風、□東雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、□伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、伊五八、□伊七三、伊七二、伊七一、□伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、□伊一二二、伊一二三、伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

□伊七〇、伊六八、伊八

【大 阪】

(黒潮)▲

【神 戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【相 生】

(瑞穂)▲(伊七五)▲

【因ノ島】

早鞆▲

【江田内】

旗風、春風▲、□松風▲

【舞 鶴】

平戸▲ 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、磯波▲、伊五二▲

【佐世保】

(夜)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

【佐世保】

榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、▷霧島、金剛▲、▷由良、▷川内、▷阿武隈、加賀、千歳▲、能登呂、龍田、八重山

海軍公報(部内限) 第三千八百八號

昭和十三年十二月十六日

一四八一

梨、竹、榎、桃、柳、檜、薑、水無月、  
 長月、若葉、初霜、子日、初春、  
 大湖、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、如月、  
 卯月、彌生、夕月、文月、白露、有明、  
 夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、  
 追風、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、  
 呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、  
 呂三四、呂三三、伊六三、伊五九、  
 伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二、伊六九、  
 敷島、鶴見

【長崎】(明石) (伊一八)

羽黒

佐多

筑摩

【鎮海】葦、柿、楡

【ホノルル】尻矢

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、白鷺、足柄、

沖島、球磨、妙高、多摩、長良、勝力、

迅鯨、蟻蛾、名取、駒橋

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、

芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、睦月、望月、

三月月、蓬、蓼、菱、島風、汐風、

灘風、皐月、隴、曙、潮、夕風、朝風、  
 隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、  
 真鶴、鳩、雉  
 掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
 掃一八  
 朝日、膠州、知床、野島

【航海中】

八雲 (十五日「マニラ」發「パラオ」)

浦波、綾波 (十五日吳發「鎮海」)

白雲 (十五日吳發「舞鶴」)

秋風、羽風、太刀風 (十五日橫須賀發「佐世保」)

野風、沼風 (十五日鳥羽發「橫須賀」)

帆風 (十五日舞鶴發「橫須賀」)

伊一、伊三 (十五日長浦發「吳」)

掃七 (十五日玉發「佐世保」)

# 海軍公報

(部内限) 第三千八十九號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月十七日(土)

## ○令 達

官房機密第六七二四號

從 要

臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十三年十二月十五日

海 軍 大 臣

第一條中「第一聯合航空隊聯合艦隊附屬中ヲ除ク」ヲ削リ「木更津海軍航空隊(聯合艦隊附屬中ヲ除ク)」ヲ「第一聯合航空隊(聯合艦隊附屬中ヲ除ク)、木更津海軍航空隊(同上)」ニ改メ「横須賀海軍航空隊」ノ下ニ「筑波海軍航空隊、鹿島海軍航空隊」ヲ加フ

第二條中「第一聯合航空隊聯合艦隊附屬中ヲ除ク」、木更津海軍航空隊(聯合艦隊附屬中ヲ除ク)「ヲ」、第一聯合航空隊(聯合艦隊附屬中ヲ除ク)、木更津海軍航空隊(同上)ニ、「霞ヶ浦及横須賀海軍航空隊」、「霞ヶ浦又ハ横須賀海軍航空隊」、「イ 霞ヶ浦海軍航空隊」ヲ夫々「霞ヶ浦、横須賀、筑波及鹿島海軍航空隊」、「霞ヶ浦、横須賀、筑波又ハ鹿島海軍航空隊」、「イ 霞ヶ浦海軍航空隊」

ケ浦、横須賀、筑波又ハ鹿島海軍航空隊」、「イ 霞ヶ浦海軍航空隊、筑波海軍航空隊、鹿島海軍航空隊」ニ、同條第一號(六)ノ表ヲ左ノ如ク改ム

大 中 佐	中 佐	中 少 佐	少 佐、大 尉	兵 科 佐 官	兵 科 尉 官	機 關 中 佐	機 關 少 佐	機 關 大 尉	機 關 科 佐 官
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	2	3	5	1	5	1	4	1	1
1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	3	1	1	1	1	1
計	3	5	8	2	9	1	6	2	2

海軍公報(部内限) 第三千八十九號

昭和十三年十二月十七日

一四八三

看護兵曹	機關兵曹	整備兵曹	航空兵曹	兵曹	主計科特務士官	看護科特務士官	機關科特務士官	整備科特務士官	航空科特務士官	兵科特務士官	主計科尉官	軍醫科尉官	軍醫少尉	軍醫佐	機關科尉官
1	27	11	15105	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
4	30	23	26	50	1	1	4	10	13	5	1	1	1	1	3
2	4	57	26	4	1	1	1	6	3	1	1	1	1	1	1
1	7	67	39	14	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1
6	68	158	185	74	3	2	6	16	20	6	1	1	1	1	6
○ 辭 令															
通信事務官 草壁 經雄															
兵															
下士官															
准特務士官															
特務士官															
士官															
合計															
主計兵															
看護兵															
機關兵															
整備兵															
航空兵															
水兵															
主計兵曹															
298507															
63224															
134															
96130															
127															
3697923503491860															
14356															
359															
694															
1377															
4631															
5856															
120															
248346															
9498															
786															
1140															
2811															
90															
4123															

第六海軍軍用郵便所長ヲ命ス	通信書記	松村 豊	海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員海軍大佐	酒卷 宗孝
(各通)	遞信局書記	横沼 倍三	海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員海軍大佐	一瀬 信一
第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス	通信書記	大林 龜彌	海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス	同	金子 繁治
(各通)	通信事務員	河島 紀元	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	同	岡田 次作
第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス	同	長山 育三	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	同	三好 輝彦
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス	集配手	秋田 信市	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員海軍中佐	菊池 朝三
(各通)	同	原田 俊一	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員海軍少佐	山田 豊
第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス	同	横山 京二郎	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員海軍少佐	垣田 照之
但シ身分ノ取扱ハ傭人トス(九二海軍省)	同	細川 正三	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍艦政本部造兵監督官兼造船監督官海軍中佐	和田 雄四郎
(各通)	同	折坂 一美	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍艦政本部造兵監督官兼造船監督官海軍中佐	寺岡 正雄
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス	同	戸塚 道太郎	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍艦政本部造兵監督官兼造船監督官海軍中佐	中野 英夫
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	同	大野 一郎	海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍艦政本部造兵監督官兼造船監督官海軍中佐	尾本 愛道
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	同	宇垣 經	東京監理官ヲ命ス	佐世保海軍病院ニ於ケル齒科治療囑託	

海軍公報(部内限)第三千八百九十九號

昭和十三年十二月十七日

一四八五

第五艦隊ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

第四艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

新庄 鎮

佐世保海軍病院ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

聯合艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

立川 保

第四艦隊ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

第五艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

篠崎 寅雄

吳海軍病院ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

第一艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

岩澤 易

横須賀海軍病院ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

吳海軍病院ニ於ケル齒科治療囑託

橋元 伊八郎

第一艦隊ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千七百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上<sup>海軍省</sup>海軍省)

海軍中佐 山代 勝守

第二課勤務ヲ命ス

海軍少佐 小手川 邦彦

第二課勤務兼第一課勤務ヲ命ス(以上<sup>海軍省</sup>海軍省人

事局)

軍令部出仕海軍機關少佐 福岡 武

第三部勤務ヲ命ス(以上<sup>海軍司令部</sup>海軍司令部)

海軍少佐 岡 巖

參謀部第三部勤務ヲ命ス(以上<sup>大本營海軍部</sup>大本營海軍部)

海軍中佐 小林 淑人

技術部第一課勤務兼第二課勤務第三課勤務ヲ命ス

海軍機關中佐 落合 精一

(各通) 同

技術部第一課勤務ヲ命ス 河崎 千苗



<p>(各通)</p> <p>海軍中佐 山田 豊</p> <p>同 垣田 照之</p> <p>同 柳村 義種</p> <p>海軍少佐 林田 如虎</p>	<p>技術部第三課勤務ヲ命ス</p> <p>海軍主計少佐 中野 英夫</p>	<p>在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p> <p>海軍技師 關口 武夫</p>	<p>在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p> <p>海軍書記 中川 澄郎</p>	<p>總務部第二課勤務ヲ命ス(以上 附註 海軍航空本部)</p>	<p>○雜款</p>	<p>○旗艦變更</p> <p>横須賀防備戰隊司令官ハ十二月十五日旗艦ヲ電ニ變更セリ</p>	<p>第一航空戰隊司令官ハ十二月十五日旗艦ヲ加賀ヨリ赤城ニ變更セリ</p>	<p>○將旗撤去</p> <p>第十三戰隊司令官ハ十二月十五日將旗ヲ球磨ヨリ撤去</p>
<p>セリ</p>	<p>○司令潜水艦變更</p> <p>第二十戰水隊司令官ハ十二月十五日司令潜水艦ヲ伊號第七十二潜水艦ヨリ伊號第七十三潜水艦ニ變更セリ</p>	<p>○特務艦襟裳行動豫定</p> <p>地名 着</p> <p>横須賀 十二月十六日 發</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>第三驅逐隊 島風宛 横須賀</p> <p>自今</p>	<p>汐風、灘風宛 當分ノ間 佐世保郵便局氣付</p>	<p>第四驅逐隊宛 自今 佐世保郵便局氣付</p>	<p>驅逐艦白雲宛 自今 東舞鶴</p>	<p>特務艦隱戸宛 自今 吳</p>	

海軍公報(部内限) 第三千八十九號 昭和十三年十二月十七日

一四八七

1306

特務艦襟裳宛

自今

横濱

○残務整理  
第十三戦隊司令部残務整理ハ横須賀鎮守府ニ於テ海軍中佐久米幾次之ヲ行フ

第十二砲艇隊残務整理ハ軍艦白鷹ニ於テ之ヲ行フ

○艦装員事務所閉鎖  
十二月六日第五號驅潜艇艦装員事務所ヲ閉鎖セリ

○着任、退廳  
新任 海軍省人事局長 海軍少將 伊藤 整一 三月五日着任  
前任 同 清水 光美 同月廿日退廳

○正誤 済  
本月七日附通牒欄(二頁)「軍學術獎勵賞」ハ「軍樂術獎勵賞」ノ、同十三日辭令欄中越澤傳治「(艦本)」ハ「(艦本監)」ノ、同十四日雜款欄郵便物發送先第十一水雷隊「鷺」ハ「鷺」ノ孰モ誤

○削除 済  
本月十日附辭令欄海軍中佐浦孝一「兼第二課」ヲ削除ス

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○十二月十七日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲、山城、陸奥、春日▲、▽神威、木曾、利根▲、▽長門▲、▽赤城、▽鳥海、摩耶、那珂、▽蒼龍▲、▽曉、漣、狹霧、▽天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、沖風▲  
 ▽伊二▲、伊七▲  
 富士▲、洲崎▲、鳴戸  
 (飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲  
 【長浦】 ▽夏雲、朝雲、峯雲、▽野風、沼風、神風、波風、▽雷、響、電、山雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊四、伊五、▽伊六、▽伊一二三、伊一二四、伊一〇)▲  
 【石川島】 (掃一〇)▲  
 【横濱】 襟裳  
 【浦賀】 北上▲  
 (霞)▲(不知火)▲(掃八)▲  
 【館山】 澤風▲  
 【大湊】 夕風  
 大泊  
 【函館】 吳竹▲  
 【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、古鷹▲、加古▲、大井、最上、鈴谷、日向、伊勢▲、扶桑、

鬼怒、▽大鯨、▽熊野、三隈、龍驤▲  
 神通、天龍、千代田、白鷹  
 夕顔、▽菊、葵、萩、▽薄、藤、葛、若竹、早苗、▽初雪、白雪、吹雪、▽矢風、▽東雲、薄雲、叢雲、朝風  
 呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、▽伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、伊五八、▽伊七三、伊七二、伊七一、▽伊六六▲、伊六五、伊六七、伊七四、▽伊一二二、伊一二三、伊六八、伊七〇、伊八、▽伊六四、伊六一、伊六二、伊六九、伊一、伊三、伊六)▲  
 攝津、間宮、室戸、隱戸  
 【大阪】 (黒潮)▲  
 【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲  
 (瑞穂)▲(伊七五)▲  
 【相生】 早鞆▲  
 【因ノ島】 ▽旗風、春風▲、▽松風▲  
 【江田内】 平戸▲  
 【徳山】 石廊  
 【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、磯波▲、白雲▲、伊五二▲

海軍公報(部内限)第三千八百十九號

昭和十三年十二月十七日

一四八九

1308

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲  
 榛名、那智▲、常磐▲、青葉、衣笠、加賀、千歳▲、能登呂、龍田、八重山、霧島、金剛▲、▽由良、▽川内、▽阿武隈、梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲葦▲、▽水無月、長月、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▽朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、▽如月、卯月、彌生、夕月▲、文月、▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、涼風、山風、▽追風、疾風、▽葦、柿、楡、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六六▲、呂六五▲、呂六七▲、▽呂六八、呂六三、▽呂三四、呂三三、▽伊六三、伊五九、伊六〇、掃七、敷島▲、鶴見

【長崎】

(明石)▲(伊一八)▲  
 羽黒▲、佐多▲

【鎮海】

【ホノルル】

【作業地】

浦波、綾波、尻矢、出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、▽足柄、沖島

【航海中】

球磨、▽妙高、多摩、▽長良、勝力、迅鯨、嵯峨、名取、駒橋、栗、梅、逆、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、睦月、望月、三日月、▽蓬、蓼、菱、▽島風、汐風、灘風、皐月、▽朧、曙、潮、▽夕風、朝風、隼、鶴、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、雉、▽掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、▽朝日、膠州、知床、野島、▽磐手、八雲 (十五日「マニラ」發「バラオ」へ)、▽秋風、羽風、太刀風 (十五日横須賀發「佐世保」へ)、帆風 (十五日舞鶴發「横須賀」へ)

# 海軍公報 (部内限) 第三千九十號

昭和十三年十二月十九日(月)  
海軍大臣官房

## ○通 牒

經物第四六七號

昭和十三年十二月十七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

本年三月經物第一〇六號第一第一項第四號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候

記

社 名 (氏)	住 所	株式會社大阪機械製作所	日 高 晴 生	合名會社大阪鐵筋混凝土工務所	臺灣電力株式會社	株式會社杉浦鐵工所	日本鋼板工業合資會社	井上光學工業合名會社	田 島 辰 次 郎 (田島機械工具製作所)	合資會社文化工業社	株式會社英製作所	株式會社荏原製作所	株式會社資生堂
東邦電力株式會社	東京市麴町區丸ノ内一ノ六海上ビル	大阪市西淀川區佃町一六七	大阪市西淀川區佃町一六七	大阪市大正區小林町一六三	臺北市書院町一ノ一	東京市品川區北品川五ノ四	東京市荒川區尾久町五ノ一	東京市世田谷區新町二ノ二	東京市荏原區戶越町八三二	東京市品川區大崎本町二ノ四三二	東京市足立區小臺町七五五	東京市蒲田區羽田三ノ一三五〇	東京市京橋區銀座八ノ一
廣島電氣株式會社	廣島市小町三三												
株式會社木下商會	東京市京橋區銀座西八ノ九												
株式會社東洋特殊合金製作所	兵庫縣武庫郡本山村中野四												

海軍公報 (部内限) 第三千九十號 昭和十三年十二月十九日

一四九一

1310

原 浩	和歌山縣海草郡加太町一三八二	○旗艦變更 聯合艦隊司令長官ハ十二月十五日旗艦ヲ陸奥ヨリ長門ニ變更セリ
宮代 正之	平塚市平塚新宿四三七	○將旗撤去 第三航空戰隊司令官ハ十二月十五日將旗ヲ撤去セリ
帝國土木株式會社	一〇 東京市城東區北砂町一ノ五	○司令驅逐艦變更 第六驅逐隊司令ハ十二月十五日司令驅逐艦ヲ響ヨリ電ニ變更セリ
大島 義 愛	東京市麴町區九段四ノ四	○司令驅逐艦一時變更 第二十五驅逐隊司令ハ十二月十六日司令驅逐艦ヲ一時大湖ヨリ朝潮ニ變更セリ
神谷 太一郎	東京市京橋區八丁堀四ノ五ノ四	○司令潜水艦變更 第九潜水隊司令ハ十二月十五日司令潜水艦ヲ伊號第百二十三潜水艦ヨリ伊號第百二十四潜水艦ニ變更セリ
合資會社石田組	東京市本郷區本郷一ノ七	第十二潜水隊司令ハ十二月十六日司令潜水艦ヲ伊號第七十潜水艦ヨリ伊號第六十八潜水艦ニ變更セリ
旗 知 良 造	二 橫濱市神奈川區岡野町一〇	○特務艦室戶行動豫定變更
株式會社丸善鐵工所	二 東京市城東區大島町二ノ二	地 名 着
合資會社澁谷商會	名古屋市中區二ノ一九	長 崎 十二月十九日
原 口 岩 吉	東京市澁谷區大和田町六九	發 十二月十七日
合資會社堀内組	札幌市七條西四ノ五	二十日
合資會社清水スプリング商店	一七 大阪市西區立賣堀北通五ノ一七	
昭和電線電纜株式會社	川崎市堀川町七二	
○雜 款		

佐世保 二十日  
吳 二十三日  
二十三日

○郵便物發送先  
第三十四驅逐隊宛

自今

佐世保

第十二掃海艇

自今

佐世保郵便局氣付

○郵便物發送先變更

特務艦室戸宛

三月二十一日迄ニ到着見込ノモノハ  
共ノ後ハ  
吳 佐世保

海軍公報(部内限) 第三千九十號 昭和十三年十二月十九日

一四九三

1312

○艦船所在 指<sup>▲</sup>印<sup>▲</sup>ハ<sup>▲</sup>ハ<sup>▲</sup>カ<sup>▲</sup>フ<sup>▲</sup>  
指<sup>▲</sup>定<sup>▲</sup>ヲ<sup>▲</sup>要<sup>▲</sup>セ<sup>▲</sup>ズ

○十二月十九日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、陸奥、  
殿島、沖島、春日▲▷神威、木曾、利根▲

▷長門▲▷赤城、▷鳥海、摩耶、那珂、  
▷蒼龍▲

▷曉、漣、狹霧、▷天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

沖風▲

伊七▲ 富士▲、洲崎▲、鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】▷夏雲、朝雲、峯雲、▷臘、曙、潮、▷野風、  
沼風、神風、波風、▷電、雷、響、山雲、  
帆風、▷島風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊四、  
伊五、▷伊六、▷伊一二三、伊一二四

【石川島】(掃一○)▲

【横濱】襟裳 北上▲

【浦賀】(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】澤風▲

【大湊】夕風 大泊

【函館】吳竹▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、古鷹▲加古▲、  
大井、最上、鈴谷、日向、伊勢▲、扶桑、  
鬼怒、▷大鯨、▷熊野、三隈、龍驤▲、  
神通、天龍、千代田、白鷹

夕顔、▷菊、葵、萩、▷薄、藤、葛、若竹、  
早苗▷初雪、白雪、吹雪、▷矢風、▷東雲、  
薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一▲、▷伊五三▲、伊五五、  
伊五七、伊五六、伊五八、▷伊七三、  
伊七二、伊七一、▷伊六六▲、伊六五▲、  
伊六七、伊七四、▷伊二二一、伊一二二、  
伊六八、伊七〇、伊八、▷伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九、伊一、伊三

▷鷲、雁 攝津、間宮、隠戸

(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲

【相生】早鞆▲

【因ノ島】▷旗風、春風▲、▷松風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、磯波▲、  
白雲▲

海軍公報(部内限) 第三千九十九號 昭和十三年十二月十九日 一四九五



【佐世保】

伊五二 ▲  
 (叢) ▲ (陽炎) ▲ (親潮) ▲ (掃九) ▲  
 榛名、那智 ▲ 常磐 ▲ 青葉、衣笠、加賀、  
 迅鯨、千歳 ▲ 能登呂、龍田、八重山、  
 金剛 ▲、▷由良、▷川内、▷阿武隈  
 梨 ▲、竹 ▲、榎 ▲、桃 ▲、柳 ▲、檜 ▲、蕁 ▲、  
 長月、▷若葉 ▲、初霜 ▲、子日 ▲、初春 ▲  
 ▷朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、▷如月、  
 卯月、彌生、夕月 ▲、文月、▷白露、有明、  
 夕暮、時雨、▷江風、海風、涼風、山風、  
 ▷追風、疾風、▷葦、柿、楡  
 呂三〇 ▲、呂三一 ▲、呂三二 ▲、呂六〇 ▲  
 呂六一 ▲、呂六二 ▲、呂六四 ▲、呂六六 ▲  
 呂六五 ▲、呂六七 ▲、▷呂六八 ▲、呂六三、  
 ▷呂三四、呂三三、▷伊六三、伊五九、  
 伊六〇  
 掃七  
 敷島 ▲、鶴見  
 (明石) ▲、(伊一八) ▲  
 羽黒 ▲  
 佐多 ▲、室戸  
 (筑摩) ▲

【長崎】

【鎮海】

【作業地】

浦波、綾波  
 ▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
 保津、熱海、二見、▷足柄、球磨、▷妙高、

【航海中】

多摩、▷長良、勝力、▷嵯峨、名取、駒橋、  
 栗、梅、蓮、▷村雨、夕立、春雨、五月雨、  
 ▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、陸月、望月、  
 三日月、▷蓼、蓬、菱、沙風、灘風、阜月、  
 ▷夕風、朝風、▷秋風、羽風、太刀風、  
 ▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、  
 真鶴、鳩、雉  
 ▷掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
 ▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
 掃一八  
 ▷朝日、膠州、知床、野島  
 ▷磐手、八雲 (十五日「マニラ」發「パラオ」へ)  
 尻矢 (十六日「ホノルル」發「横須賀」へ)  
 ▷伊二 (十八日横須賀發「吳」へ)  
 伊七五 (十八日神戸發「吳」へ)  
 石廊 (十八日徳山發「佐世保」へ)